

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた単元構想〈小・国語〉

特別研修員 国語 赤石 智美 (小学校教諭)

単元名 「きくこと」について考えよう (第5学年) 全6時間計画

単元のねらい

インタビュー活動を通して、言葉には相手とのつながりを作る働きがあることに気付き、相手のことをよく知るための聞き方について、内容を検討することができるようにする。

単元構想

聞く活動において、相手の話の中心を確かめたり、自分が知りたい情報を更に詳しく聞いたりする力を身に付けることを目指します。本単元では、二つのモデルインタビューを比較する活動を通して、自分が知りたい情報を詳しく聞くための聞き方のコツを考えていきます。聞き方のコツが理解できたところで、実際に友達にインタビューを行い、聞いた情報を基に友達のよいところを紹介する文章を作っていきます。まとめる過程では成果物の交流を通して、自己の成長や変容を自覚させ、今後の生活や他の学習でも学んだことを実践してみたいという意欲が高まるよう構成しました。

過程	主な学習活動	指導のポイント	指導の実際・児童の変容
つかむ (1)	<p>1. 単元の課題を把握する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○友達のよいところを引き出すインタビューを行い、課題に気付く。 ○単元の課題をつかむ。 <p>どのように聞けば、相手のよいところを引き出せるのだろう。</p> <p>単元の課題 相手のよいところを紹介するためのインタビューをしよう。</p>	<p>魅力的な言語活動</p> <p>既習事項を活用し、友達のよいところを引き出すインタビューを行い、感想を交流させる。児童の発言を基に単元の課題を設定することで、主体的な活動へとつなげていくことができるようにする。</p>	<p>【児童の感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質問が難しくて答えられなかった。 ・一つの質問に一つの答えになってしまい、詳しく聞くことができなかった。 ・何を聞けばよいのか、よく分からなかった。
追究する (4)	<p>2. 課題を追究する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○二つのモデルインタビューを比べ、よい聞き方について考える。 <p>Bは、相手の話の大事な部分を繰り返しているね。</p> <p>Aは、用意した質問だけ聞いていて、詳しく聞いていないな。</p> <p>Bは、分かりにくい質問を言い換えているよ。</p> <p>【よい聞き方のコツ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○相手の話の中心を考えながら聞き、大事なことを繰り返す ○自分の感想を伝える ○相手の話から質問を考えて詳しく聞く ○分かりにくい質問は、言い換える <p>○インタビューをする内容を考える。</p> <p>○よい聞き方について学んだことを生かしてインタビューをする。</p> <p>○インタビューしたことを基に、友達のよいところを紹介する文章を作る。</p> <p>○友達のよいところを紹介する。</p>	<p>モデルの比較</p> <p>インタビューのモデルを作る際には、児童に気付かせたいポイントが分かるように文章構成を工夫する。全体で意見を交流する際には、「聞き方のコツ」を確認すると同時に、コツを使うことの効果も考えさせることで、理解が深まるようにする。</p>	<p>児童は、二つのモデルインタビューを、間違え探しのような感覚で比較していた。楽しみながら違いを見付け、「よい聞き方のコツ」についての理解を深めることができた。</p> <p>友達を紹介する文章を発表し合う活動を通して、よい聞き方について学んだことを実感し、学びを自覚することにつながった。</p> <p>← 友達のよいところを紹介している様子</p>
まとめる (1)	<p>3. 単元の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○単元全体を振り返り、学んだことをまとめる。 ○本単元で身に付けた力を生かせる場面について意見交流をする。 <p>インタビューの聞き方を使って友達とも話してみよう。</p> <p>話を聞くときは、相手の話の中心を考えながら聞くようにしましょう。</p>	<p>学んだことの一般化</p> <p>学習を通してできるようになったことを振り返り、学びを自覚させる。さらに、本単元で身に付けた力を生かせる具体的な場面を想像させ、実践意欲へとつなげていけるようにする。</p>	<p>【児童の振り返り】</p> <p>委員会活動で○○先生にインタビューをするので、聞きたいことが相手に分かるように質問をしたり、大事なことをくり返したりして聞きたい。</p>

指導例：『きくこと』について考えよう（第5学年第1時）

1 教材文やモデル等と出会い、単元の課題を設定する。
 ○教科書を読み、本単元では、インタビュー活動を通して「聞くこと」について考える学習であることを知る。
 T：先生が今から北島さんのよいところを発表します。
 S：北島さんのよいところは水泳をがんばっているところなのだ。
 T：みんなは、クラスの友達のよいところを知っていますか。
 S：知っている子もいるし、知らない子もいるな。
 T：インタビューをして、友達のよいところを聞いてみましょう。
 ○友達のよいところを引き出すという目的で、既習事項を使ってインタビューを行い、課題に気付かせる。
 T：3人組でインタビューをしてみました、どうでしたか。
 S：うまくいかなかった。
 T：どんなところがうまくいきませんでしたか。
 S：相手のよいところを引き出せなかった。
 S：何を聞けばよいか分からなかった。
 S：インタビューが続かなくなりました。

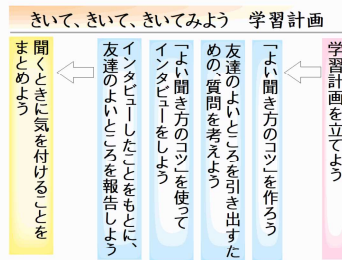
単元の課題 相手のよいところを報告するためのインタビューをしよう。

2 本時のめあてをつかむ。

めあて インタビューに必要なことを出し合い、学習の見通しをもとう。

3 単元全体の学習の見通しをもつ。
 ○相手のよいところを引き出すインタビューをするために、どのような学習活動が必要か考える。

T：インタビューをしてみてもうまくいかなかったことを解決するためには、どのようなことをしていくとよいと思いますか。
 S：事前に聞きたいことを考えておきたい。
 S：相手のよいところを引き出す聞き方のコツが知りたい。



【学習計画】

T：では、みんなが出してくれたことをまとめて学習計画を作りましょう。

4 本時のまとめ・振り返りをする。
 ○本時の学習について、分かったことを記述する。
 ☆インタビューの前に、質問を考えておく必要があると思った。
 ☆友達のよいところをたくさん見付けたい。
 ☆友達のよいところを引き出すインタビューのコツが知りたい。

指導のポイント

主体的に活動させるモデルの提示

○教師がゴールの姿をモデルとして示すことで、見通しをもたせ、学習への興味・関心を高めさせる。

魅力的な単元の課題設定

○既習事項を使いインタビューをさせる。
 ○「うまくいかない」「どうすればもっとうまくできるのだろう」と課題意識をもたせ、単元の課題へとつなげていく。

学習計画の作成

○単元の課題解決のために、どのようなことが必要か考えさせ、出された言葉を基に学習計画を作成していく。
 ○学習計画は、掲示しておき、児童が見通しをもって学習できるようにする。

振り返り

○単元の課題と学習の見通しから、課題解決に向けて、「〇〇ができるようになりたい」と意欲付けにつながる振り返りが書けるようにしていく。

指導例：『きくこと』について考えよう（第5学年第6時）

1 本時のめあてをつかむ。

- 既習事項を振り返り、学習してきたことを確認する。



【成果物の発表】

めあて 単元全体を振り返り、聞くときに気を付けることをまとめよう。

2 単元で学んだことを確認する。

- よい聞き方のコツを想起させ、「聞くこと」について大切なことをノートに書く。

T：相手のよいところを引き出すために、どのようなことに気を付けて聞くことが大切でしょうか。
 S：インタビューをするときには、相手に聞きたいことが分かるように質問をすることが大切だと分かった。
 S：聞くときには、相手の話の中心を考え、大事な言葉を繰り返すとよいことが分かった。

3 学んだことを一般化して理解する。

- 様々な場面における「聞く」について、それぞれの立場で、どのように聞いていくことが大切か考える。

T：今回の学習では、インタビューをするための「聞く」以外に、どのような「聞く」がありましたか。
 S：インタビューに答えるための話し手としての「聞く」がある。
 T：話すために「聞く」ときには、どのようなことが大切ですか。
 S：相手が知りたいことが何かを考えながら聞くこと。
 S：相手の話が分からないときには、確認することも大切だと思います。
 T：今回は3人組で活動しましたが、もう一人の役割は何でしたか。
 S：記録者です。
 T：記録者も「聞く」ことをしていますね。どのように聞くとよいと思いますか。
 S：相手の話の中心を考えながら、大事な部分をメモに取りながら聞くとよいと思う。
 T：それぞれの聞くを上手に使うことで、相手のよいところを引き出すインタビューができましたね。
 S：いつも相手の話を全部書いていて、大事なことが分からなくなってしまっていたので、これからは大事なことはどこかを考えながら聞いていきたいと思う。

4 単元全体の振り返りをする。

- 単元や本時の活動を通して学んだことをまとめる。

☆委員会活動でインタビューをするので、聞きたいことが相手に分かるように質問したい。
 ☆友達と話すときにも、「よい聞き方のコツ」を使って、繰り返したり、感想を言ったりしながら聞いてみようと思った。

指導のポイント

既習事項の活用

- 作成した成果物や、成果物作成までの過程を振り返り、単元を通して身に付けたことを振り返らせる。

単元を通した学びの共有

- 児童が単元を通して学んできた力を活用させる場面を設定し、理解を深めるとともに、他の活動でも実践してみたいという意欲をもたせるようにする。

学びを実感するための手立て

- 個で考えた意見を全体で共有し、まとめていく。
- 今回の学習が、日常の様々な「聞く」場面で活用できることを再確認し、身に付けた力が多くの場面で活用できることに気付かせる。

実践意欲につなげる振り返りの活用

- 身に付けた力を活用できる具体的な場面を想像させることで、実践意欲につなげるようにする。
- 想像させた具体的な場面を全体で共有することで、新たな学びへの意欲につなげるようにする。

国語科学習指導案

令和元年6月 第5学年 指導者 赤石 智美

I 単元名 「きくこと」について考えよう

II 学習指導要領上の位置付け

(1) 言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くこと。

【知識及び技能 A話すこと・聞くことア】

(2) 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。

【思考力、判断力、表現力等 A話すこと・聞くことア】

(3) 言葉がもつよさを認識するとともに、国語の大切さを自覚し、思いや考えを伝え合おうとする態度を養うこと。

【学びに向かう力、人間性等】

III 目 標

インタビュー活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(1) 言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くこと。 (知識及び技能)

(2) 相手のことをよく知るために、伝え合う内容を検討すること。

(思考力、判断力、表現力等)

(3) 言葉がもつよさを認識するとともに、思いや考えを伝え合おうとする態度を養うこと。

(学びに向かう力、人間性等)

IV 指導計画 ※別紙参照

V 本時の展開 (1/6)

1 ねらい インタビューに必要なことを話し合う活動を通して、学習の見通しをもつことができるようにする。

2 展開

学習活動 (分)	○: 留意点	点線囲: 評価	☆: 振り返りの子供の意識
1 教材文と出会い、単元の課題を把握する。(10分)	○教科書を読み、本単元では、インタビュー活動を通して「聞くこと」について考える学習であることを伝える。 ○隣の友達のよいところを引き出すインタビューをペアで行い、感想を発表させる。		
単元の課題 相手のよいところを報告するためのインタビューをしよう。			
2 本時のめあてをつかむ。(2分)	○どのようなことに気を付ければ、相手のよいところを引き出すことができるのか考えさせる。		
めあて インタビューに必要なことを話し合い、学習の見通しをもとう。			
3 単元全体の学習の見通しをもつ。(28分)	○3、4年生の「話すこと・聞くこと」の学習では、目を見て話したり聞いたりすること、必要なことをメモしたり質問したりしながら聞くことについて学習したことを思い出させる。 ○インタビューに必要な活動を個で考えさせる。 ○全体で共有し、学習の見通しをもたせる。		
インタビューに必要な活動を考え、友達のよいところを引き出すインタビューをすることに意欲的な記述や発言をしている。 <ノート・発言(4)>			
4 本時のまとめ・振り返りをする。(5分)	○本時の学習で分かったことを記述させる。 ☆インタビューの前に質問を考えておく必要があると思った。 ☆友達のよいところをたくさん見付けたい。 ☆友達のよいところを引き出すインタビューのコツが知りたい。		

V 本時の展開 (2/6)

- ねらい 二つのインタビューを比べる活動を通して、相手のよいところを引き出す聞き方について考えることができるようにする。

2 展開

学習活動 (分)	○ : 留意点	点線囲 : 評価	☆ : 振り返りの子供の意識
1 本時のめあてをつかむ。(2分) ○前時の学習を振り返らせ、本時は、友達のよいところを引き出すインタビューのコツをまとめていくことを伝える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">めあて 二つのインタビューを比べて、「よい聞き方のコツ」を作ろう。</div>			
2 課題を追究するために個で考える。(5分) ○二つのインタビュー (A : 「よい聞き方のコツ」を使っている B : コツを使っていない) を示し、ペアで役割読みをさせる。 ○AとBを比較し、「相手のよいところを引き出す聞き方」を見付けるように伝える。			
3 友達との交流で、課題を追究するための考えを確認し合い、新たな気付きをもつ。(35分) ○個の考えをグループで伝え合い、グループの考えを整理させる。 ○グループの考えを発表させ、全体で共有し、「よい聞き方のコツ」としてまとめる。 ○「よい聞き方のコツ」を使って実際に短いインタビューを行い、よいインタビューを実感させる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;">相手のよいところを引き出す聞き方について気付いている。 <ノート・発言(1)></div>			
4 本時のまとめ・振り返りをする。(3分) ○本時の学習で分かったことを記述させる。 ☆相手の話の大切な部分を繰り返すことが大切なんだと分かった。 ☆聞いたことに対して感想が言えるようにしたい。 ☆相手に合わせて質問を変えたり、言い換えたりするとよいことが分かった。			

V 本時の展開 (6/6)

1 ねらい 単元全体を振り返る活動を通して、今後の生活にどのように生かしていきたいか、自分の言葉でまとめることができるようにする。

2 展開

学習活動 (分)	○: 留意点	点線囲: 評価	☆: 振り返りの子供の意識
1 本時のめあてをつかむ。(5分) ○今までの学習を振り返り、「聞くこと」について学習を進めてきたことを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">めあて 単元全体を振り返り、聞くときに気を付けることをまとめよう。</div>			
2 単元で学んだことを確認する。(15分) ○よい聞き方のコツを想起させ、「聞くこと」について大切なことをノートに書くように伝える。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;">インタビューをするときは、聞きたいことが分かるように質問すること、聞くときには、相手の話の中心を考え、受け止めながら聞くことが大切であることを記述している。 <p style="text-align: right;"><ノート・発言(1)(2)></p></div>			
3 学んだことを一般化して理解する。(15分) ○本単元では、様々な「聞く」があったことを確認し、それぞれの立場では、どのように聞いていくことが大切かを考えさせる。 ①インタビューをするための「聞く」: 相手の話の大事な部分を考えて聞く。 <p style="text-align: right;">相手に合わせて質問を変えたり、言い換えたりしながら聞く。</p> ②インタビューに答えるための「聞く」: 聞き手が知りたいことを考えながら答える。 <p style="text-align: right;">分からないときには確認する。</p> ③記録者としてメモを取るときの「聞く」: 全部を書くのではなく、要点をメモする。			
4 単元全体の振り返りをする。(10分) ○単元全体で学んだことを、自分の言葉でまとめるよう促す。 ☆委員会活動でインタビューをするので、聞きたいことが分かるように質問したい。 ☆友達と話すときにも、よい聞き方のコツを使って、繰り返したり、感想を言ったりしながら聞いてみようと思った。			

指導計画 国語科 第5学年
単元名 「きくこと」について考えよう（全6時間計画）

目標	インタビュー活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 (1) 言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くこと。 (知識及び技能) (2) 相手のことをよく知るために、伝え合う内容を検討すること。 (思考力、判断力、表現力等) (3) 言葉がもつよさを認識するとともに、思いや考えを伝え合おうとする態度を養うこと。 (学びに向かう力、人間性等)			
評価規準	(1) 相手の話を受け止める聞き方について考えることができる。 【知識及び技能(1)ア】 (2) 収集した知識や情報を関連付け、目的や意図に応じてインタビューすることができる。 【A話すこと・聞くことア】 (3) 話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えに共感したり、納得したりしたことを取り上げながら、友達のよいところを報告することができる。 【A話すこと・聞くことエ】 (4) 相手の意図を捉えながら聞こうとしている。 【国語への関心・意欲・態度】			
過程	時間	○ねらい めあて	☆振り返り（意識）	◇評価項目 ＜方法（観点）＞
つかむ	1	○学習の見通しをもたせることを通して、学習課題への意欲がもてるようにする。 単元の課題 相手のよいところを報告するためのインタビューをしよう。 インタビューに必要なことを出し合い、学習の見通しをもとう。	☆インタビューの前に質問を考えておく必要があると思った。 ☆友達のよいところをたくさん見付けたい。 ☆友達のよいところを引き出すインタビューのコツが知りたい。	◇インタビューに必要な活動を考え、友達のよいところを引き出すインタビューをすることに意欲的な記述や発言をしている。 ＜ノート・発言(4)＞
追究する	1	○二つのインタビューを比べる活動を通して、相手のよいところを引き出す聞き方について考えることができるようにする。 二つのインタビューを比べて、「よい聞き方のコツ」を作ろう。	☆相手の話の大切な部分を繰り返すことが大切なんだと分かった。 ☆聞いたことに対して感想が言えるようにしたい。 ☆相手に合わせて質問を変えたり、言い換えたりするとよいことが分かった。	◇相手のよいところを引き出す聞き方について気付いている。 ＜ワークシート・発言(1)＞
	1	○友達のよいところを引き出すための質問事項を考えることを通して、伝え合う内容を検討することができるようにする。 友達のよいところを引き出すための、質問を考えよう。	☆ピアノをなぜ習い始めるようになったのか聞いてみたい。 ☆上毛カルタのおすすめの札を教えてほしい。	◇友達に聞いてみたいことを書き出し、その中からより相手のよいところを引き出せそうな質問を選んでいく。 ＜ノート・発言(2)＞
	1	○3人グループで役割を交代しながらインタビューを行うことを通して、聞くことについての理解を深めることができるようにする。 「よい聞き方のコツ」を使って、友達にインタビューをしよう。	☆友達の話を繰り返しながら聞くことができた。 ☆相手の話に合わせて、次の質問を考えたら、詳しく聞くことができた。	◇インタビューを通して、聞き方についての理解を深めている。 ＜ノート・発言(1)＞
	1	○インタビューを通して得た情報の中から、友達のよさが分かる情報を関連付け、相手の考えに共感したことや納得したことを取り上げながら、自分の考えをまとめることができるようにする。 インタビューしたことを基に、友達のよいところを報告しよう。	☆メモを基に、友達のよいところを報告することができた。 ☆〇〇さんが何でも最後まで頑張ることができるのは、習い事の水泳を小さいときから粘り強く続けていたからだということが分かった。	◇インタビューを通して得た情報を関連付け、共感したことや納得したことを取り上げながら、友達のよさを報告している。 ＜ワークシート・発言(3)＞
まとめ	1	○単元全体を振り返る活動を通して、今後の生活にどのように生かしていきたいか、自分の言葉でまとめることができるようにする。 単元全体を振り返り、聞くときに気を付けることをまとめよう。	☆委員会活動でインタビューをするので、聞きたいことが分かるように質問したい。 ☆友達と話するときにも、よい聞き方のコツを使って、繰り返したり、感想を言ったりしながら聞いてみようと思った。	◇インタビューをするときは、聞きたいことが分かるように質問すること、聞くときには、相手の話の中心を考え、受け止めながら聞くことが大切であることを記述している。 ＜ノート・発言(1)(2)＞